

役に立つ」(×) ⑤ 「すべての公共の場所には避難口がある」(×) (b) 「加奈は、③公共の場所には多くの種類のピクトグラムがあると言っている」 加奈の発話の最後から2文目参照。

① 「外国人は日本のピクトグラムが好きだ」(×) ② 「1964年東京オリンピックにやって来た外国人のある人たちがピクトグラムを作った」(×) ④ 「日本人デザイナーによって作られたピクトグラムは世界で最も人気があった」(×) ⑤ 「すべての標識が日本語で書かれていたので、最初の東京オリンピックは成功しなかった」(×)

やや難

(5) 「リオデジャネイロ・オリンピックでの水泳のピクトグラムはどれか」 裕太の発話の後半で「2016年リオデジャネイロ・オリンピックでは、3本線が水を示している。2008年北京オリンピックでも、3本線が波を示しているが、1本の線は中央で切断されている」と述べられているので、波が3本線で示されていて、切断されていない図⑤が正解。

★ワンポイントアドバイス★



第3問は、英文中の空所を補う語句補充問題で、5つの各空所に対してそれぞれ5つの選択肢が与えられていた。空所は、文脈から判断するものと文法的なアプローチで解く問題が混在していたので、基礎文法は確実に身につけること。

<国語解答> 《学校からの正答の発表はありません。》

第一問 問一 1 ③ 2 ① 3 ② 4 ③ 5 ② 問二 1 ④ 2 ②
 3 ① 問三 1 ② 2 ⑤ 問四 1 ① 2 ⑤ 問五 (1) ①
 (2) ⑤ (3) ④

第二問 問一 ⑤ 問二 ① 問三 ⑤ 問四 ① 問五 ① 問六 ④

第三問 問一 ④ 問二 ② 問三 ⑤ 問四 ① 問五 (1) ③ (2) ⑤

第四問 問一 ① 問二 ⑤ 問三 ② 問四 ④ 問五 ③

○推定配点○

第一問 各2点×15 第二問 各5点×6 第三問 各5点×6 第四問 各2点×5
 計100点

<国語解説>

第一問 (漢字の読み書き, 熟語, ことわざ・慣用句, 文と文節, 品詞・用法)

問一 1 「訂」を使った熟語は、他に「改訂」などがある。 2 訓読みは「お(く)」。 3 「融」を使った熟語は、他に「融和」「融資」などがある。 4 訓読みは「いな」。 5 「票」を使った熟語は、他に「伝票」「得票」などがある。

問二 1 意味が似ている漢字を重ねた構成。 2 下の字が上の字の目的語となる構成。 3 上に否定の接頭語がつく構成。

問三 1 広さが五里にわたる霧の中にいるという意味からできた②の「ごりむちゅう」が正しい。 2 自分の田へ水を引くという意味からできた⑤の「がでんいんすい」が正しい。

基本

問四 1 「顔」を使った慣用句は、他に「顔から火が出る(恥ずかしい思いをして顔が赤くなる)」「顔に泥をぬる(体面をつぶす)」などがある。 2 「鼻」を使った慣用句は、他に「鼻につく(あ

きていやになる)」「鼻をあかす(だしぬいて驚かせる)」などがある。

問五 (1) アは「厳しい」という形容詞の一単語となる。(2)「別れ」は「れ／れ／れる／れる／れれ／れよ・れろ」と活用するので、下一段活用の動詞。(3)「故郷へ」「帰った」と自然につながるので、「帰った」の連用修飾語はエ。

第二問 (随筆—内容吟味, 文脈把握, 指示語の問題, 脱文・脱語補充, ことわざ・慣用句)

基本 問一 「経験のないかたは」で始まる段落の「失恋して体の具合が悪くなった」という作者の体験は、「伊勢物語」第四十五段の内容として適切でない。

問二 直前の文の、悲しみにくれた親が男に訴えたのは、娘が男に片思いをして今にも死にそうだというもので、男にとっては全く思いがけない話である。思いがけない知らせに驚くという意味の語が入る。

問三 一つ目の□Ⅱの直前「夜が更けて」飛ぶものは何かを考える。五つ目の□Ⅱの後に「何か人の魂を連想させる」とあるのもヒントになる。

基本 問四 和歌や漢詩を数えるときには、「首」を用いる。

問五 「男の状況」を読み取る。娘の親から娘が「今にも死にそうだとと言われて、男は慌てて見舞いに行った」が、娘は「安らかに死んでしま」い、男はそのまま喪に服しているという状況である。「人から好かれて」で始まる段落の「別に悪いことをしたわけではないのに、なんとなくスイマセンと言わざるを得ない雰囲気」から、筆者が男の状況を気の毒に思う理由を読み取る。

重要 問六 一方的に思いを寄せられた男や、男に思いを寄せて死んでしまったお嬢さまについては書かれているが、思いを寄せられたせいで悩み死んでしまう人が跡を絶たないとは述べていない。したがって、適切ではないのは④。

第三問 (論説文—大意・要旨, 内容吟味, 文脈把握, 段落・文章構成, 接続語の問題)

やや難 問一 I 一つ前の段落の「選択肢が多すぎて……不自由だと思ふことがある」と、直前の段落の「選択肢などないほうがいい……自由かもしれない」のどちらにしても、後の「考えることで実現する自由とは、直接関係ない」という文脈なので、どちらにしても、という意味を表す語が当てはまる。II 前の「人間の自由の原理的な可能性」を、後で「『そもそも人間は自由でありうるのか』』と言い換えているので、説明の意味を表す語が当てはまる。III 「人間の自由を否定することもできる」という前に対して、後で「どんなひどい犯罪でも……その行為に対する責任を問えなくなり、人を裁く根拠も失われかねない」と相反する内容を述べているので、逆接の意味を表す語が当てはまる。

問二 挿入する段落に「次に……選択の自由というのがある」とあるので、「選択の自由」について述べる部分の最初に挿入すると判断する。—②—の後の段落に「けれども、私たちは選択肢が多すぎて困惑し」とあり、この内容は挿入する形式段落の「選択肢がなければ不自由だ」という内容から続くにふさわしい。—②—の前では選択肢について述べていないので、挿入する段落は、—②—に挿入するのが適切である。

問三 直前の「それ」は、前の「考えるだけで自由になる」ことを指し示している。「お手軽」「安売り」などの表現からは、自由には高い価値がないとしていることが読み取れる。

問四 直後の段落の「私たちが現実を生きていくうえでもっと切実なのは……自由の感覚である」や、「痛みについては」で始まる段落の「幻想だろうが何だろうが、自由だと感じるか否かが問題なのだ」から、筆者が他のことは「大した問題ではない」とする理由を読み取る。

やや難 問五 (1) 「しかし私が」で始まる段落の「私が問題にしているのは、自ら考えることで自分が自由になる、ということだ」に着目する。(2) 「こうした一般に」で始まる段落に「哲学においてより根本的な問題として議論されてきたのは……『運命論』や『決定論』との関連で出て

くる『そもそも人間は自由でありうるのか』という問いである」とあり、直後の段落に「このような観点から、人間の自由を否定することもできる」とある。この部分が「哲学的な『自由』」を意味しており、この内容を述べているものが空欄「Y」に入る。

第四問 (漢文一語句の意味, 古文の口語訳, 表現技法)

<口語訳> 春は(雪解け)水が四方の川を満たし
夏は雲が多く珍しい形の頂上(のよう)になる
秋は月が明るく輝き空高くあがり
冬は山の嶺の一本松が素晴らしい

- 基本** 問一 一句(一行)が五字でできているので「五言」。四句からなっているので「絶句」。
問二 「五言」の場合は、偶数句末が押韻している。
問三 後の注釈に、「春水」は春の雪解け水とある。雪解け水が満ちるのはどこかを考える。「沢」には、山間部の比較的小さな川という意味がある。
- 重要** 問四 「揚」の先に「明輝」を読むので、「明輝」を一・二点で囲む。
問五 本文後の注釈に「秀」は秀でているという意味だとある。冬の山の嶺の一本松が秀でているという意味を述べている現代語訳を選ぶ。



★ワンポイントアドバイス★

第一問の独立問題だけではなく、読解問題の中でも和歌の数え方や慣用句などの知識が多く問われている。ふだんから問題集などを使ってしっかりと対策しておこう。